

「『オンリーワン徳島行動計画（第二幕）』の改善見直し 平成22年度版計画（案）」に関するパブリック・コメント一覧

基本目標1「オープンとくしま」の実現に関すること（5件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
1	徳島県政策企画総局内に重要な政策決定や予算の決定を行う「徳島県経営戦略室」の創設「徳島県経営戦略会議」の設置、「徳島県経営戦略プロジェクトチーム（PT）」の設置を行う。	政策企画会議、戦略的調整会議等の運用に当たり、今後の参考にさせていただきます。
2	徳島県農業開発公社、徳島県林業公社、徳島県土地開発公社における地方独立行政法人化を行う。	県の外郭団体においては、「経営改善計画（問題解決プラン）」を策定し、これに基づき、役職員数、県補助金・委託金の削減に取り組んでおります。現在、各団体において、平成22年度から24年度までの新たな「経営改善計画」の策定を行っているところであり、適時適切な助言を行うとともに、次期計画の進行管理を行うことにより、見直しに向けた取り組みを一層徹底して参りたいと思っております。
3	県民の叡智や工夫による施策政策的な意見を県政の発展に反映させる「県民提案制度」の充実を図る。	「とくしま円卓会議」、「しゃべり場とくしま」、「移動知事室」や「パブリックコメント」をはじめ、「e-モニターアンケート」などのインターネットを活用した提言の場などにより、積極的に県民との意思疎通を図りながら、県政を推進いたします。
4	徳島県が総合商社（三菱商事、三井物産、伊藤忠商事、住友商事、丸紅、双日等）が持つ総合マネジメント力、情報収集分析力、情報発信力、企画立案力、ブランド力によって「徳島県庁の総合商社化」を推進する。	ご意見の趣旨を踏まえ、企画立案力、情報発信力などの一層の強化に努めて参ります。
5	徳島県が徳島県債を上海株式市場、深セン株式市場、香港株式市場で債券を運用する。	県債管理については、全国型市場公募債の発行など、新たな取り組みを推し進めているところであり、今後の参考とさせていただきます。

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現に関すること（13件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
6	徳島県が「企業立地促進資金貸付基金」と「ふるさと雇用再生特別基金」との併用で「百人以上雇用できる企業」の「百社以上の企業立地」で「徳島一万人新規雇用事業」を行う。	重点施策5「新たな雇用と働きやすさとくしまづくり」の主要事業2「コールセンター等企業誘致の推進」の中で、ご意見の趣旨を踏まえ取り組んで参ります。
7	「第一次産業」＋「第二次産業」＋「第三次産業」を結集した「第六次産業化」で地域総合産業の展開を行う	農商工連携を推進する中で、今後の参考とさせていただきます。

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現に関すること（13件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
8	徳島県が誇る「伝統的な地盤産業」（阿波しじら織り、阿波足袋、阿波和紙など）を全国的にPRすることで、地域の地盤産業の振興を図る。	基本目標7「〃にぎわい〃とくしま」の重点施策3「観光立県とくしまづくり」の主要事業3「県産品を活用した魅力発信」の中で、ご意見の趣旨を踏まえ取り組んで参ります。
9	「航空宇宙産業」の企業立地の推進(三菱重工業)、「食品加工産業」の企業立地の推進(カゴメ、大塚食品)、「次世代半導体産業」の企業立地の推進	企業誘致を進める中で、今後の参考とさせていただきます。
10	次世代電池産業の振興を行う(リチウムイオン二次電池、太陽電池、バイオ燃料電池)	現在、徳島県は世界最大のリチウムイオン電池工場が立地しており、この特徴を産業施策につなげていきたいと考えております。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県が「世界のLED工場」を目指してシャープ、豊田合成、スタンレー電気、シチズンHD(シチズン電子)、朝日ラバーなどのLED関連企業の企業立地を行う。 ・徳島県が、大塚製薬グループ(大塚製薬、大塚化学、大鵬薬品工業、大塚食品等)に本社・研究所・工場の徳島へのふるさと企業回帰事業を行う ・徳島県がバイエル薬品日本法人の徳島への企業立地を行う。 	企業誘致を進める中で、今後の参考とさせていただきます。
12	徳島県が県内企業の「一社一技」の取り組みに支援を行う。	今後の参考とさせていただきます。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県とドイツ連邦共和国ニーダーザクセン州との「県州友好提携協定」に基づいて、ニーダーザクセン州の協力を得てフォルクスワーゲン社のプラグイン式ハイブリッド車の「ゴルフ」の自動車生産工場の企業立地を行う。 (ニーダーザクセン州がフォルクスワーゲン社の株式を20%保有) (フォルクスワーゲン社に三洋電機徳島工場はリチウムイオン二次電池を供給) 	企業誘致を進める中で、今後の参考とさせていただきます。
14	徳島県、世界銀行、アジア開発銀行、日本政策投資銀行の出資による「徳島国際開発商業銀行」の設立を行う。	具体的な内容は不明ですが、とくしま経済飛躍ファンドの活用等により県内中小企業の資金面での支援に取り組んで参ります。

基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現に関すること（13件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
15	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県に「経済技術開発区」を創設し、海外の資本や海外の技術を導入して「国際貿易立県 とくしま」を目指す。(例 シンガポール) ・未来型産業の確立（自然エネルギー技術分野、環境技術分野） 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の資本や優れた技術を本県に持ってくるのは本県の産業振興において重要であると認識しており、本県では上海グローバル戦略において、上海を拠点として、中国における本県企業の製品の販路拡大支援を推進していくとともに、本県のものづくり技術をPRするための展示会出展や企業間交流なども予定しており、そうした中で、まずは、民間ベースで海外との技術交流などが図られることを期待しており、今後とも当該戦略の推進に努めて参ります。 ・今後の参考とさせていただきます。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・「徳島野菜」のブランド化の推進(謂東ねぎ、吉野レタス、大津大根等) ・「地産地消」の推進及び「地産外商」の推進（「とくしまブランド」の海外への販路拡大） ・航空貨物コンテナによる「フライト野菜」の品目の拡大 ・航空貨物コンテナによる「フライト活魚」の開始(アオリイカ、徳島鱧、鳴門鯛、北灘はまち等) ・「花き園芸ランド徳島」の推進 	<p>「新鮮とくしまブランド戦略」を展開する中で、取り組んで参ります。 なお、フライト利用については、検討を続けて参ります。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性農業の推進 ・「徳島アオリイカ」「徳島鱧」「うず華鯛」「北灘はまち」の築地魚市場での「ブランド漁化」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業など、持続可能で生物多様性の保全を重視した農林水産業を推進しているところです。「農林水産基本条例」に基づき環境に配慮した農林水産業の推進に取り組んで参ります。 ・「新鮮とくしまブランド戦略」を展開する中で、取り組んで参ります。
18	<p>徳島県農業大学校において大規模農業経営ができる農業経営者の育成を行う。</p>	<p>農業大学校において研修教育を進める上での参考とさせていただきます。</p>

基本目標3「環境首都とくしま」の実現に関すること（4件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル、アルミ缶、スチール缶などの「デポジット制度」の導入 ・「とくしま3Rリサイクル運動」の全県展開 ・「とくしまマイバッグ持参運動」の全県展開 ・県内の市町村で「指定有料ゴミ袋制度」の導入でごみの減量化を行う ・スーパー、コンビニエンスストアでの「有料レジ袋制度」の導入でごみの減量化を行う。 ・市町村の「ごみ処理広域化計画」に対して徳島県が支援制度の創設を行う（「鳴門市藍住町環境施設組合」への支援） 	<p>「デポジット制度」及び処理費用の前払い方式の導入については、ペットボトル等に限らず、リサイクルシステムの再構築に向けて、国へ政策提言を行っております。「有料指定ゴミ袋制度」については、県内10市町が導入しています。その他のご要望についても、産学民官の共同体である「とくしま環境県民会議」と連携して、全県的な県民運動として取り組んで参ります。</p> <p>市町村等が整備する廃棄物処理施設の広域化につきましては、これまでに県下6ブロックで広域化に関する協議会が設立されております。県としましては、市町村等に対し、循環型社会の形成に向け、広域的かつ総合的に廃棄物処理施設等の整備を推進するために創設された国庫補助制度（交付金制度）の説明及び手続き等についての支援を行ってきたところであり、今後も、広域処理施設の整備を推進・支援して参りたいと考えております。なお、鳴門市・藍住町環境施設組合は平成15年6月に解散しており、そのうち、鳴門市においては、平成20年4月から、新たな焼却施設が稼働しております。</p>
20	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県が市町村のISO14001の認証取得への支援を行う。 ・「とくしまEVタウン」の実施（電気自動車、プラグインハイブリッド車） ・太陽光発電、太陽熱発電、波力発電、風力発電、バイオマス発電、メガソーラー発電をICTを活用してスマートグリッドを導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県においては、地球温暖化対策資金貸付金制度を活用し、ISO14000シリーズの認証取得経費への支援を行っております。 ・電気自動車・プラグインハイブリッド車においては、県においても自動車税における優遇措置を実施していますが、今後、普及機運の醸成に向け、産学民官の協働組織である「とくしま環境県民会議」での議論を進めて参ります。 ・再生可能エネルギーを有効活用するための「スマートグリッド」の導入については、国に政策提言しているところであり、今後も各種の提案を行っていくこととしております。

基本目標3「環境首都とくしま」の実現に関すること（4件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
21	<p>「とくしまアイドリングストップ運動」の全県展開、「とくしまノーマイカー運動」の全県展開、在来線における鉄道電化の促進、「プラグインハイブリッド車」のタクシーの導入</p>	<p>・県では、「徳島県生活環境保全条例」により運転者に対するアイドリングストップの努力義務に加え、駐車場設置者等に対しても駐車場利用者に対する周知の努力義務を定めると共に、店舗等への掲示に積極的に取り組んでいただけるアイドリングストップ協力店の拡大等を図っております。今後も環境への負荷の低減に努めて参ります。</p> <p>・ノーマイカーデーの推進やエコドライブの実施については、すでに産学民官の協働組織である「とくしま環境県民会議」で取組を進めているところですが、今後はモーダルシフトの推進に向け、企業等でのエコ通勤など実践的な取組を進めて参ります。</p> <p>・電気自動車やプラグインハイブリッド車についても、今後の普及の動向を踏まえつつ、「とくしま環境県民会議」と連携協力し、普及促進に向けた取組を進めて参ります。</p>
22	<p>県有施設への太陽光パネルの設置等により・・・地球温暖化対策の啓発の推進を挙げているが、現経済情勢において県有施設への同設置予算があれば、各家庭に対して同設置補助を実施している市町村を支援すべきである。</p>	<p>地域グリーンニューディール基金の活用については、県事業のみならず、太陽光パネルの設置など地域の特性を活かした市町村の地球温暖化対策事業を支援しております。</p>

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現に関すること（7件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
23	<p>徳島県立中央病院のER・災害医療診療部に防衛医科大学校病院又は自衛隊中央病院から災害救護専門の医官を招く。</p>	<p>「ER・災害医療診療部」につきましては、徳島大学に「寄附講座」を設置し、県立中央病院を拠点とし、救急医療や災害医療に従事する医師の養成・確保を行うものであります。ご提案の医官招聘につきましても、徳島大学と協議する中で検討して参りたいと考えております。</p>

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現に関すること（7件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
24	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県が「東京消防庁」をお手本にして「徳島県消防本部」を設立する。 ・徳島県が市町村や地域と協力して地域の消防団団員の増強、小学校の校区単位とする地域自主防災組織率の向上を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防は、法令により市町村がその責任を有し、管理することとされております。なお、ご意見の趣旨については、今後の参考とさせていただきます。 ・消防団は、地域防災力の要であり、このため、県消防協会や市町村とともに、団員の確保に向けた普及啓発活動や消防団活動に協力いただける事業所を表彰する制度の促進など様々な取り組みを行っております。更に、平成22年度からは、将来の地域防災を担う子どもたちを対象とした少年消防教室を開講し、「未来の消防団員」育成を支援する取り組みを展開して参りたいと考えております。また、災害時に地域住民が共に支え合う自主防災組織の結成は、来るべき南海地震に備える上で重要な課題と考えておりますので、住民に身近な市町村と連携し、地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進に取り組んで参ります。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県が徳島大学医学部と連携して行う「寄付講座」の「総合診療医学分野」について基礎医学（解剖学、病理学、免疫学、生理学、生化学、微生物学、薬理学）に精通した総合診療医の養成を目指す。 ・徳島県立中央病院と自治医科大学附属病院との間で医療連携を行う。 	<p>「寄附講座」の「総合診療医学分野」につきましては、徳島大学と連携して地域医療確保に関する研究を行うものであります。基礎医学に精通した総合診療医の養成につきましても、ご提案の趣旨を参考にし、徳島大学と協議をして参ります。</p>
26	<p>「小児医療体制の充実」について、拠点病院の複数化整備、電話相談の時間帯延長はいいと思います。時間も深夜帯の充実を図ることによって、四六時中の対応ができるようになってくると思います。そこで、拠点病院の整備の際、実際に現場で働く人に対するの対策(手当、人数等)も具体的に設定して行ってほしいです。</p>	<p>小児救急医療拠点病院の整備に際しましては、そこで勤務する医療従事者の確保が課題であると認識しております。本県においても、救急勤務医確保支援事業、小児科医等への専門医研修資金貸与事業等の取り組みを行っているところであります。頂きました御意見の趣旨を踏まえ、今後も医療現場の勤務環境改善等について検討して参りたいと考えております。</p>

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現に関すること（7件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
27	<ul style="list-style-type: none"> ・「がん医療水準」の向上 ・「がん薬物療法専門医」の育成と確保 ・「地域がん登録」の推進 ・「子宮頸がんワクチン助成制度」の創設 ・「放射線療法」、「化学療法」、「ワクチン療法」の推進 ・徳島県中央病院に「重粒子線照射装置」を導入する。 	<p>「がん医療水準の向上」、「がん薬物療法専門医の育成と確保」、「地域がん登録の推進」及び「放射線療法、化学療法、ワクチン療法の推進」については、「徳島県がん対策推進計画」に基づいて、今後も引き続きその対策を進めて参ります。</p> <p>「子宮頸がんワクチン助成制度の創設」については、子宮頸がん対策に当たり、まずは、その原因と予防、さらには、ワクチン接種の必要性などについて、正しい知識の普及を図ることが、何よりも重要であると考えております。</p> <p>「徳島県立中央病院に重粒子線照射装置を導入する」につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
28	<p>糖尿病対策の推進など、徳島は全国でも高い糖尿病の罹患率です。それをふまえて、事前に発見・治療・対策(糖尿病に限ったことでなく、生活習慣病や三大疾患など)すべく、健康診断などをもっと徹底して行って欲しいです。実際に広めるにあたって、現状で徹底率の低い民間企業などに健康診断を勧めることはとても効果があると思います。大・中・小様々な民間企業がかなりの数を占めると思いますのでそこを徹底していくと将来は病気の罹患や死亡率の低下が期待できると思います。</p>	<p>平成20年度から、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための保健指導を必要とするものを抽出する特定健康診査及び特定保健指導が開始され、健診受診率向上、糖尿病該当者・予備軍の減少を目指し、健診受診の促進等に努めております。</p> <p>その結果、本県の市町村においては、全国平均を上回る健診受診率(31.6%：全国30.8%)、特に、特定保健指導(生活習慣の改善、生活習慣病予防)の実施については、全国1位の実施率(38.3%：全国14.8%)であり、積極的な取り組みがみられております。</p> <p>また、県内各企業に対しても、県の「職域タイアップ事業」により、特に中小規模事業所に対して、事業主、従業員の要望に応じた健康づくり支援事業を実施しております。</p> <p>今後も他県内各事業所への事業推進・拡大を図り、地域全体で生活習慣病予防、県民の健康水準の向上に取り組んで参ります。</p>

基本目標4「安全・安心とくしま」の実現に関すること（7件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
29	<p>とくしま体感治安向上プロジェクトの推進を挙げ、地域ぐるみの自主防犯活動の支援として自主防犯活動用自動車の拡充を図る（台数の増加）としているが、台数増加等は現状をよく見聞し、もう少し考慮する必要があると思う。</p> <p>また、警察機能の強化として夜間・初動体制と機動力の強化、更には、交通事故防止に向け各種講習会の開催等の実施を推進しているが、夜間体制等の強化は当然であるが、もっと昼間における街頭活動（交通取締りなどを含む）の推進が必要と思われる。</p>	<p>自主防犯活動用自動車は、その機動性や活動範囲の広域性等に着目して、自主防犯組織に働きかけを行っているところであります。今後も引き続き、自主防犯活動の支援に取り組んで参ります。</p> <p>昼間における街頭活動については、これまでも実施してきたところであり、今後の参考とさせていただきます。</p>

基本目標5「"まなびや"とくしま」の実現に関すること（8件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
30	<ul style="list-style-type: none"> ・「農業系専門高等学校の拠点校づくり」＋「工業系専門高等学校の拠点づくり」＋「工業系専門高等学校の拠点づくり」＝「農工商連携教育」（第六次産業教育）の推進 ・「理数科」設置の全県展開（鳴門、阿波、脇町、池田への復活） ・「普通科」の英数コースの「英数科」の独立 	<p>高校教育改革を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>

基本目標5 「“まなびや” とくしま」の実現に関すること（8件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
31	<p>「放課後子ども教室」の開設と「放課後児童クラブ」の設置はそれぞれどう違うのか。それぞれの主体、運営者は誰か。 また、「スクールガード」活動は、何時何分に子ども達を下校させるという学校の決定がなければ、周辺住民は協力できず、活動が十分に機能しないのではないか。</p>	<p>両事業は、放課後等に子どもたちの安全で健やかな居場所をつくり、そこでの様々な活動等をとおして、子どもたちの成長を支援する総合的な放課後対策事業として、市町村が主体となり、地域の実情に応じて実施しております。</p> <p>具体的には、「放課後児童クラブ」（いわゆる学童保育）は、保護者が仕事などにより昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童を対象として、放課後や休業日などに適切な遊びや生活の場を与え、専任の放課後児童指導員が保護者に代わって保育を行うものです。徳島県においては、保護者や地域の代表からなる運営委員会が市町村から委託を受けて実施しているものが大部分です。補助対象となる放課後児童クラブは、年間最低開所日数（平成21年度で200日）が定められておりますが、運営費用の一部を利用者が負担する必要があります。</p> <p>一方、「放課後子ども教室」は、登下校中に子どもたちが巻き込まれる悲惨な事件が続き、子どもたちの安全確保の必要性が叫ばれる中、放課後や週末等の安全・安心な居場所づくりを進めるため創設されたもので、子どもたち（年齢制限等はありません）の安全・安心な居場所を確保するとともに、勉強やスポーツ・文化芸術活動、交流活動等の機会を提供しております。年間最低開所日数の定めはなく、地域によって実施日数は異なりますが、どの地域においてもボランティアとして地域の方々の協力を得て実施しており、利用者の負担金も不要です。</p> <p>スクールガードと連携した効果的な見守り活動ができるよう、地域の実態に応じた情報の共有の必要があると考えております。</p>
32	<p>・徳島大学の総合大学化を行う（理学部の開設又は工学部の理工学部への改組、法文学部の開設）</p>	<p>徳島大学総合科学部においては、平成21年度に学部改組により「人間社会科学」「自然システム科学」の2学科を「人間文化学科」、「社会創生学科」及び「総合理数学科」の3学科に再編を行ったほか、大学院の後期博士課程も新設し、大学教育の充実が着実に進められているところであります。</p>

基本目標5 「“まなびや” とくしま」の実現に関すること（8件）

	ご意見の要旨		ご意見に対する県の考え方
33	<p>・ 県内公立学校における「ICT」教育の推進 （学校内LANの構築、電子黒板、教員用PC、児童生徒用PC、3Dデジタルテレビ）</p> <p>・ 「工業系専門高等学校の拠点づくり」「商業系専門高等学校の拠点づくり」「農業工業系専門高等学校の拠点校づくり」で「農工商業連携事業」による学校間交流を行う。</p>		<p>平成21年度において、県内公立学校でのICT環境は一層整備が進みました。この環境を活用し、今後も引き続きICTを利用した教育の推進に取り組んで参ります。また、農工商業連携事業による学校間交流については高校教育改革を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>
34	<p>「とくしま版スクールニューディール」の実施 県内公立学校の校庭の芝生化、 県内公立学校の校舎の屋上緑化 県内公立学校に学校内LANの構築 県内公立学校の各教室に電子黒板の設置 県内公立学校の各教室に教育用PCの設置 県内公立学校の各教室に3Dテレビの設置</p>		<p>県立学校の施設整備にあたっては、「とくしま版スクールニューディール」の趣旨を踏まえ、環境に配慮した良好な教育環境の確保に努めるとともに、市町村立学校についても指導・助言を行って参ります。</p>
35	<p>徳島県が県立高校の「進学指導重点校」の補講に駿台予備学校、河合塾などから教化講師の派遣を行う。</p>		<p>本県の高校生の学力向上施策に向けて、今後の参考とさせていただきます。</p>
36	<p>徳島県が健全な青少年の育成を目的に物心両面に涉ってボーイスカウト日本連盟徳島県支部、ガールスカウト日本連盟徳島県支部に支援を行う。</p>		<p>日本ボーイスカウト徳島連盟、ガールスカウト日本連盟徳島県支部は、歴史と実績を有し、本県の社会教育にとって重要な団体であり、これまでも指導者研修等を通して支援してきましたが、今後とも本県の健全な青少年の育成に向け両団体との連携や支援に取り組んで参ります。</p>
37	<p>市町村要保護児童対策地域協議会の設置は22年で100%となっておりますが、はたして虐待防止対策として機能しているのかと疑問に思います。</p> <p>他県では、通報を受けているにもかかわらず、対応が悪いのか死亡に至っているケースが多々あります。強制立ち入りも行われていると思いますが、非常に少ないようです。（08年42,662件中、強制立ち入りは2件）そこで、保育所、幼稚園へ行かれていない子ども、乳幼児健診を受けない子どもについて、専門的に調査、及び対応ができる係をつくってはどうかと思います。</p>		<p>市町村が設置する要保護児童対策地域協議会の実効性のある運営を支援するため、「徳島県児童虐待防止対策会議」を開催していますが、その中で児童福祉を所管することも未来課と母子保健事業を所管する健康増進課が連携し、しっかりと市町村をサポートして参ります。</p>

基本目標6 「“みんなが、とくしま”の実現に関すること（0件）

基本目標7 「“にぎわい、とくしま”の実現に関すること（20件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
38	<p>・高速道路のSA又はPAにおいて地域の産直市を開催する （高松自動車道・鳴門西PA→JA徳島北板東直売所、徳島自動車道・上板SA→上板農産市 春夏秋冬、四国横断自動車道・松茂PA→JA松茂ふるさといち）</p> <p>・徳島県が「徳島東環状道路」沿いの「徳島県立阿波十郎兵衛屋敷」の近くに道の駅「阿波十郎兵衛屋敷の里」（仮称）の開業を行う。あわせて、「あいあい温泉」の移転開業も行う。</p>	<p>・高速道路の利用促進を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>・貴重なご意見として、今後の「道の駅」整備の参考とさせていただきます。</p>
39	<p>徳島県が「マリンピア沖洲」を「徳島の臨海副都心」として位置づけを行いウォーターフロントの開発を推進する。 （ヨットハーバー、海浜緑地、徳島港水族館、パターゴルフ場、マーケットプレイス、国際展示場など）</p>	<p>マリンピア沖洲は、「四国横断自動車道のIC」と直結する「水深8.5m耐震強化岸壁」等の整備により、国内物流の拠点として「地域経済の活性化」に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>いただきましたご意見については、今後の参考にさせていただきます。</p>
40	<p>・「徳島阿波おどり空港」を「第二関西国際空港」と位置づけて更なる空港能力向上事業を行う。（3,000m滑走路、常設のCIQ施設、国際線旅客ターミナルなど）</p> <p>・「徳島阿波おどり空港」を国土交通省の「地域拠点空港」の指定を受ける。（高松空港、松山空港、高知空港は「地域拠点空港」の指定済み）</p>	<p>・貴重なご意見として受けとめ、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>・ご意見の趣旨を踏まえ、「徳島阿波おどり空港」が地域の拠点として活用されるよう、今後の参考とさせていただきます。</p>
41	<p>・「徳島空港の国際化」の推進（日本空港の「ワンワールド」や全日空の「スターアライアンス」の航空連合を活用してのソウル線、北京線、上海線、香港線、台北線、グアム線、ホノルル線の国際定期航空路の開設）</p> <p>・徳島空港が東南アジア圏及び北東アジア圏の表玄関口の地域拠点空港化を目指す。（シンガポール、クアラルンプール、ジャカルタ、ハノイ、ウラジオストック、ハバロフスク）</p> <p>・海外の格安航空会社（LCC）の誘致促進</p>	<p>・徳島空港の国際化、すなわち国際定期便の就航については、本県の「にぎわいづくり」を推進するために重要であり、まずは国際チャーター便の充実に向けて取り組んで参りたいと考えております。</p> <p>・貴重なご意見として受けとめ、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>・貴重なご意見として受けとめ、今後の参考とさせていただきます。</p>

基本目標7「“にぎわい”とくしま」の実現に関すること（20件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
42	徳島県にぎわいづくり課に「アニメ・コンテンツ室」を設置して「アニメ甲子園」の開催、「徳島アニメ祭」の開催、「アニメ・クリエイター」の養成を行う。	今後の参考とさせていただきます。
43	徳島県が「東洋のハリウッド」を目指して「とくしま国際映画祭」を開催する。	県では、映像を通じて徳島の魅力を効果的に発信するため、テレビ、映画、CM等の映像制作を支援しており、映像を活用したにぎわいづくりの手法として、今後の参考とさせていただきます。
44	徳島県での「全国地域伝統芸能フェスティバル」の開催。	今後の参考とさせていただきます。
45	徳島県が官民一体となって韓国、中国、香港、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、オーストラリア、ロシアからの観光客を増やす。	中国、韓国、台湾をはじめアジアを中心に観光客増加に取り組んでおります。頂いた御意見は、施策を推進する上での参考とさせていただきます。
46	県は、東京・大阪・名古屋などにはよくPRをしているが、東北や九州といったそれ以外の地域からの観光客誘致はどうしているのか(飛行機の増便など)	徳島の観光情報を総合的に発信するサイト「阿波ナビ」やメディア等を活用し、本県の魅力を全国に発信しているところですが、ご意見を参考にして「観光立県とくしまづくり」に取り組んで参ります。
47	県外から移り住んで2年目だが、鳴門の渦潮がいつでも見られるわけではないことを知らなかった。また、高松に比べ駐車料金が高い。県外の人が観光に訪れやすく、来てがっかりしないよう取り組んで欲しい。	徳島の観光情報を総合的に発信するサイト「阿波ナビ」などで、渦潮の見ごろ等、様々な観光情報を発信しているところですが、「観光立県とくしまづくり」を進める中で、ご意見の趣旨を踏まえ情報発信等に取り組んで参ります。
48	私の住む徳島は観光資源にあふれた県だと思います。しかし、県外から来客をもてなすとき、どこに案内したらよいのか困ってしまいます。例に採れば、映画で有名になった眉山。上からの景色を眺め少し散策すれば他に何もなく、山を下りてから案内する場所に困ります。県南の海岸線もドライブに出かけ車を走らせるだけで終わってしまいます。全てが点と点で、どこに出かけても、何かもう一つがないのです。いつまでも阿波踊りだけに頼っているのは観光県徳島の未来への希望は暗いのです。大勢の県民が、身近な方法で情報交換や、様々な情報を知ることができることを望みます。	徳島の観光情報を総合的に発信するサイト「阿波ナビ」や観光パンフレット等で、様々な観光情報を発信し、おすすめ観光ルートも紹介しているところです。また、本年度、徳島県の観光情報口コミサイト「もっと!!阿波ナビ」を新たに開設いたしました。「観光立県とくしまづくり」を進める中で、徳島ならではの魅力を効果的に発信することとしており、ご意見を参考にし、今後とも情報発信の充実、強化に努めて参ります。
49	DSのすれ違い通信を使ったようなイベントで町が元気になればいいな。	頂いた御意見は、貴重なご意見として受け止め、今後の施策の参考とさせていただきます。

基本目標7 「“にぎわい” とくしま」の実現に関すること（20件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
50	<ul style="list-style-type: none"> 「クラウドコンピューティング」による「とくしまネットワーク図書館」の構築 「クラウドコンピューティング」による「とくしまネットワーク学校」の構築 	<p>今後のネットワークの方向性を考えていく中で、参考とさせていただきます。</p>
51	<ul style="list-style-type: none"> 「クラウドコンピューティング」による「とくしまネットワーク医療」の構築 	<p>ICTを利用した医療情報ネットワークの整備につきましては、医療の地域連携機能の強化のため必要なことであり、御意見をふまえ、今後、関係機関と協議して参りたいと考えております。</p>
52	<p>「徳島情報スーパーハイウェイネットワーク」の構築（例 やまぐち情報スーパーハイウェイ、岡山情報ハイウェイ）</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
53	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術を活用しての地域振興（例 上勝町の「いろどり事業」） 民間活力を利用したの情報通信基盤整備（NTT西日本、KDDI及びJ:COM、STNet） 総務省が提唱する民間テレビ放送局の「一県四波方式」に基づいて徳島県内にTBS、フジテレビ、テレビ朝日の直轄局を開局して民間テレビ放送局を増局する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本県では、平成15年度に「e-とくしま推進プラン」を定め、情報通信基盤の整備からその活用まで、目標を定め、進捗管理を行っているところであります。 平成22年度中には県下全域に情報通信基盤にも資するCATV網整備が完了する見込みです。 現在、県内のケーブルテレビ事業者では、地上デジタル放送の区域外再送信について、放送事業者との間で話し合いが行われているところであります。
54	<ul style="list-style-type: none"> 「クラウドコンピューティング」による「とくしまネットワーク自治体」の構築 	<p>現在、国の委託を受け「自治体クラウド開発実証事業」に取り組んでいるところであります。クラウド・コンピューティング技術を活用することにより、県内の市町村が業務システムを低廉かつ効率的に利用できる環境を構築して参ります。</p>
55	<ul style="list-style-type: none"> 「阿波人形浄瑠璃」を文化庁を通じてユネスコの「世界無形文化遺産」への登録を行う。 徳島県の橋渡しで「徳島交響楽団」と「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」との友好提携の締結で合同演奏会の開催を行う。 徳島県の「阿波踊り」とブラジル連邦共和国リオデジャネイロ市の「リオのカーニバル」との友好提携の締結で、阿波踊り期間中にはリオのサンバチームを招待する。 	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>

基本目標7「“にぎわい”とくしま」の実現に関すること（20件）

	ご意見の要旨	ご意見に対する県の考え方
56	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県とドイツ連邦共和国ニーダーザクセン州との「県州友好提携協定」に基づいて「徳島ヴォルティス」対「ハノーファー96」（ハノーファー市）との国際親善サッカー大会を開催する。 ・徳島県とドイツ連邦共和国ニーダーザクセン州との「県州友好提携協定」に基づいて「徳島ヴォルティス」対「V f 1 ヴォルフスブルグ」（ヴォルフスブルグ市）との国際親善サッカー大会を開催する。 ・徳島県とブラジル連邦共和国サンパウロ州との「県州友好提携協定」に基づいて「徳島ヴォルティス」対「サンパウロFC」（サンパウロ市）との国際親善サッカー大会を開催する。 	<p>ご意見については、徳島ヴォルティスに伝えます。</p>
57	<ul style="list-style-type: none"> ・「徳島インディゴソックス」と「アトランタ・ブレーブス」（二軍）との交流試合の開催。 ・「徳島インディゴソックス」と「ボストン・レッドソックス」（二軍）との交流試合の開催。 ・「徳島インディゴソックス」と「シカゴ・ホワイトソックス」（二軍）との交流試合の開催。 ・徳島県でのプロ野球公式戦の開催（「阪神タイガース」対「広島東洋カープ」）。 	<p>ご意見については、徳島インディゴソックス球団に伝えます。</p>